

令和5年度第3回川和高等学校運営協議会 記録

日時 令和6年3月22日（金） 15:30～16:45

場所 本校 応接室

司会 甲斐副校長 記録 平田教頭

1 開会・校長あいさつ

- ・今年一年間の学校の取組の概要について資料を渡し説明をした。
- ・地域とのつながりを今後も大事にしていきたいとの話があった。

2 委員紹介

- ・各自自己紹介を行った。

3 令和5年度の本校の教育活動について

- ・今年1年の具体的な教育活動や学校環境整備等について、スライドを用いて説明を行った。

4 評価部会

- 1) 令和5年度学校評価報告書（実施結果）について説明を行い、質問・ご意見・ご感想等を伺った。
 - ・川和高校の生徒は進路についていい形で進んでいると感心している。
 - ・進路の関係で、目標はどこに置いているのか。
 - 本校の進路指導としては、生徒自身がいきたい大学に進学することを大事にしている。決して国公立を推し進めているわけではないが、先輩等の話を聞き、特に理系ではかなり多くの生徒が第一志望として国公立大学を志望している。
 - ・新型コロナウイルス感染症が第5類に移行して、いろいろなことを行いやすくなっているので今後の学校教育に期待したい。
 - ・川和高校の生徒は忙しいなと感じている。まず生徒は目標を持たせられる校風があると感じている。忙しい中でも生徒は一生懸命に取り組んでいる。生徒たちは充実した学校生活を送っていると感じている。ただ漫然と高校生活を送っている生徒がいないと思うので、ぜひ引き続き学校での教育をお願いしたい。
 - ・かながわサポートドックについて、子ども達が入力した情報がどのように職員の間で共有されて支援につながっているか教えてほしい。

→教員だけではなく、SSWが内容を確認して、様子を聞いたり面談をしたりしている。またその結果を、生活支援グループや学年で共有している。

- ・学校に行きづらい生徒、ヤングケアラーの生徒、虐待被害の生徒などはいないか

→本校は比較的少ないがいないわけではない。小中学校の方が整えられていると思うが、スクールソーシャルワーカーとの共有の中で、少しずつ体制が構築されている。長期休業明け、試験終了後等教員が生徒と面談を繰り返し行ったりしている。

- ・近くの中学校、小学校等も含めて、地域としていろいろなことに取り組んでいければと思う。

2) 学校教育計画、スクール・ポリシー、ランドデザイン案について説明を行い、ご質問・ご意見・ご感想等を伺った。

- ・文部科学省が主導で進めているDX推進の予算措置について、川和高校はどのように考えているか。

→各県、各校に希望調査が入っているが、川和高校は希望はしていない。

- ・子ども達が社会に出たとき、協働すること、主体的に行動すること、コミュニケーションをとることなどが大事だと思う。学校の勉強を社会に出てどう生かすか、その力を川和高校でつけてほしい。

5 地域連携部会

- ・地域とのかかわり方について、学校の特色の浸透や、中高の連携等を取り入れていくことが重要と考えていること、部活動体験等を通じて次年度も地域連携を進めていきたいと考えていることなどの説明を行った。
- ・ご質問、ご意見等は特になかった。

6 その他

- ・来年度第1回学校運営協議会は、6月ごろ実施予定。

出席者名簿

委員

氏名	役職等	出欠
師岡 健一	川和高等学校長	出席
柏木 照正	都筑が丘幼稚園長	出席
横田 雅之	少年補導員 川和高等学校OB ((有)中川不動産代表取締役)	欠席
児玉 亨	見花山自治会長	欠席
靱島 尚範	横浜市立荏田南中学校長	出席
伊勢 賀子	川和高等学校PTA副会長	出席

事務局

副校長	甲斐 秀幸
教頭	平田 太一
総括教諭	山岡 正和
総括教諭	島津 早苗
総括教諭	歌川 真一郎
総括教諭	眞中 恭子